

軟部腫瘍における疼痛に関する研究

2005年10月1日から2024年3月31日までに整形外科にて軟部腫瘍の組織診断を受けた患者さん、および、穿刺によるガングリオンの診断を受けた患者さん

研究協力のお願い

日本医科大学多摩永山病院整形外科では「軟部腫瘍における疼痛に関する研究」という研究を行います。この研究は、2005年10月1日から2024年3月31日までに日本医科大学多摩永山病院整形外科にて、軟部腫瘍の組織診断が行われた患者さんと穿刺によるガングリオンの診断が行われた患者さんの疼痛に関する診療内容を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：軟部腫瘍における疼痛に関する包括的な研究
研究予定期間：研究機関の長の実施許可日～2025年3月31日
調査対象期間：2005年10月1日～2024年3月31日
研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 整形外科 北川 泰之

(2) 研究の意義、目的について

有痛性軟部腫瘍の診断遅延は、疼痛の持続、および、日常生活に支障をきたします。有痛性軟部腫瘍を含めた軟部腫瘍の疼痛に関して包括的に調査し、軟部腫瘍の早期診断に役立てることを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2005年10月1日から2024年3月31日までに日本医科大学多摩永山病院整形外科にて、軟部腫瘍の組織診断が行われた患者さんと穿刺によるガングリオンの診断が行われた患者さんの疼痛に関する診療内容を分析し、軟部腫瘍の診断についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：疼痛の有無、年齢、性別、部位、深度、大きさ、組織型、罹病期間、等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

担当者：整形外科 部長・病院教授 北川 泰之
日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局
〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1
電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302
メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp